

令和5年度第6次竹原市総合計画の効果検証に係る事前指摘事項

資料5

資料 No.	資料頁	指摘事項等	担当課回答
3	全般的	<p>CやDといった評価がついている事項に対して、これまでと同様の取り組みを続けていくのが十分であるとは考えられない。もちろん、コロナ感染拡大の影響など一時的な外的要因によって、同じ取り組みを続けていても今年度は効果がでることもあるかもしれないので、全てとは言えないがずっと同じような傾向にあるものに対しては、取り組み自体を変えていく必要がある。従来どおり行うものと、令和5年度に新たに始める取り組みをわかりやすく分けて表現してもらえるとわかりやすく評価しやすい。特に1(1)②p.1, 1(3)①4p.2, 1(3)②4p.2, 2(1)②2p.3, 2(2)③2p.4, 2(2)④2p.4</p>	<p><b>【都市整備課】</b>                      ○1(1)② p.1 〈景観まちづくり団体数〉について                      ・令和4年2月25日施行竹原市景観条例に景観づくり団体を位置付けた。  <b>【令和4年度】</b>                      ①竹原駅前エリアウォークアブル協議会                      ・景観づくりに取り組んでいる任意団体に対して、民間主体による景観づくり活動を促進するため、協議会方式とすることの協議を行ってきた。                      ②竹原町並み保存会                      ・景観づくり団体指定に向けた、市の支援方法などについて協議を進めてきた。  <b>【令和5年度】</b>                      ①竹原駅前エリアウォークアブル協議会                      ・令和5年6月1日から竹原駅前をウォークアブルな空間として景観づくりや各種イベントの実施などに取り組む組織として協議会を設立した。                      ・景観づくりに関する方向性については、概ね合意できたため、規約の整理、区域の指定など個別具体的な協議を進めていく。                      ②竹原町並み保存会                      ・景観づくりに関する方向性については、概ね合意できたため、規約の整理、区域の指定など個別具体的な協議を進めていく。</p> <p><b>【産業振興課】</b>                      ○1(3)①4p.2 〈新規創業者数〉,                      1(3)②4p.2 〈経営指導員の指導件数〉,                      2(2)④2p.4 〈就職ガイダンス参加者〉について</p>

			<p>新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰等による物価高騰等の特殊な要因によるものであるため、令和5年度については、従来どおりの取組を行う予定としている。</p> <p><b>【社会福祉課】</b>  ○2 (1) ② 2 p.3 〈地域子育て支援センターの子供一人あたり利用回数〉について  令和5年度においては、こども園や地域交流センターを活動場所とする市内巡回型の地域子育て支援センターが、月に2回程度、市中心部にある児童館を活動場所とする取組を始めた。  児童館の広い遊戯室や遊具を活用したイベントの実施のほか、全地域の市民が利用しやすい場所で活動を行うことで、地域子育て支援センターの利用者数の増加及び認知度向上につながることを期待される。  (R5.7.18時点 利用者数55名)</p> <p><b>【地域づくり課】</b>  ○2 (2) ③ 2 p.4 〈自治会加入率〉について  引き続き続ける取り組み  ・活動の参考にしてもらうため「自治会の手引き」配布  ・女性の自治会役員への参加呼び掛け（啓発チラシの配布）  ・自治会加入啓発ポスターの配布  新たな取り組み  ・自治会間の情報交換の場を設ける。  ・助成金内容の見直し（へき地加算を廃止し、女性の役員参画加算等）</p>
3	1, 2	<p>1 呼び込む”ちから”づくりのうち、達成度C・Dの項目の多くが、訪日外国人の来訪がコロナ禍前の水準に戻らないことが要因と見られますが、改善が見込まれますか。</p> <p>「課題や不足していると感じること」にも書かれているように、インバウンド需要以外の観光客の呼び込みやコンテンツ磨き、広島広域都市圏での自治体連携等により改善可能性はありますか。</p>	<p><b>【産業振興課】</b>  広島空港の国際線（韓国）の再開、G7サミット効果により訪日外国人の来訪は増えている。今後も2025年大阪・関西万博の開催等により、改善は見込まれると考えている。  また、インバウンド向けとして造成した観光プロダクトを、国外観光客に限らず国内観光客向けへ販売したり、広島広域都市圏をはじめ様々な自治体との連携イベントでの観光PR・物産展の実施や雑誌・SNS等を活用した情報発信、旅行会社への営業活動等を行い、インバウンド需要以外の観光客の呼び込みに取り組ん</p>

			<p>でいる。</p> <p>加えて、コロナ禍において中止となっていたイベントの復活により、多くの方が訪れると予想しており、改善は見込まれると考えている。</p>
3	1	<p>1 (1) ①1 〈文化4施設〉</p> <p>魅力ある施設となるよう企画展示、イベント等とは具体的にどのようなものか？</p> <p>これまでもそのような意図を持って取り組んできたと思うが本年度は違う視点があるのか？</p> <p>令和4年度に民間運営導入の社会実験をしたと記されているが本年度はその成果をどう生かすのかについて具体的に示されていないので示してほしい</p>	<p>【文化生涯学習課】〈文化4施設〉</p> <p>令和5年度の具体的な取組については、ゴールデンウィーク期間中に開館時間の拡大・庭園の特別開放を実施しました。また、今後、日本遺産北前船に関する企画展の開催、官民連携によるマルシェの開催、旧森川家住宅修理現場見学会等を予定しています。</p> <p>御指摘のようにこれまでも魅力ある施設となるよう取組を進めていますが、令和5年度については、アフターコロナの状況や来訪者の動向等に視点をおいています。</p> <p>様式3及び様式4を修正しました。</p>
3	1	<p>1 (2) ①3 〈町並み保存地区を訪れる外国人観光客数〉</p> <p>令和4年度の2か国3商品の販売は、目標と比べてどうなのか？</p> <p>本年度は、販売目標はあるのか？</p> <p>広島市や廿日市市からの外国人取り込みの具体的な方法は？多言語化などの環境整備は必要だが外国人誘客に直接つながらないのでは？</p>	<p>【産業振興課】〈町並み保存地区を訪れる外国人観光客数〉</p> <p>令和4年度の販売は予定どおりとなっている。今年度は8商品造成により、誘客していきたいともくろんでいる。</p> <p>外国人へのWEB調査において、興味はあるが、本市までのアクセスが分からないなどといった意見があることから、例えば広島市から本市までのルートを示すなどの情報発信について、竹原観光まちづくり機構等と連携しながら取り組んでいきたい。</p> <p>また、外国人が観光目的地を決める際、多言語化などの受入環境が整っている地を選ぶ傾向があること、また、受入環境の充実により、訪れた観光客の満足度が高まることで、リピーターにつながったり、新たな誘客につながると考えている。</p>
3	1	<p>1 (2) ①5</p> <p>令和5年度の取り組みは外国人誘客が中心となっているが国内観光客も含めた宿泊者数増加のための具体的な戦略が記述だけではわからない。</p>	<p>【産業振興課】〈竹原市内の宿泊者数〉</p> <p>インバウンド向けとして造成した新たな観光プロダクトは、国外観光客に限らず国内観光客向けにも販売している。</p> <p>また、令和5年度は、コロナ禍において中止となっていたイベントの復活により、多くの方が訪れると予想している。</p> <p>引き続き、竹原観光まちづくり機構、市内観光関連事業者や広島県観光連盟とも連携しながら、近隣県を始めとする国内へ情報発</p>

			信をしつつ、大阪万博に向けて、国外への旅行商品の造成・販売や本市観光情報の発信を行っていきたいと考えている。
3	2	1 呼び込む”ちから”づくりのうち、(3)①4 新規創業者数について、その数も重要と思いますが、創業後の支援もより重要と思います。新規創業者間あるいは新規と先行創業者間のネットワーク支援はされていますか。	【産業振興課】(新規創業者数) 竹原商工会議所、(公財)ひろしま産業振興機構、日本政策金融公庫呉支店と本市で、竹原市創業支援ネットワークを設置しているが、商工会議所の経営指導員等により、創業後においても継続的な支援を実施している。
3	2	1 (3)①4 相談件数は増えているのか？相談窓口の設置だけでは、不十分では？ 1 (3)②1でも、創業支援内での連携が課題とあるが連携を強めるために本年度具体的に何を行うのか？	【産業振興課】(新規創業者数) 新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰等による物価高騰が原因となっていることもあるため、相談件数は昨年度は減っているが、一定には相談はある。 創業支援機関内での連携を強めるため、情報を共有できる仕組みを検討していきたいと考えている。
3	3	2 育てる”ちから”づくりのうち、(1)②2 地域子育て支援センターの子供一人あたりの利用回数を増やすために身、「ゆりかご」の復活あるいはそれに代わる地域拠点が必要に感じるのですが、いかがでしょうか。	【社会福祉課】 (地域子育て支援センターの子供一人あたり利用回数) 「ゆりかご」は、市中心部の児童館を活動場所とし、児童館の広い遊戯室や遊具を活用した子育て支援事業を実施していた。 令和2年3月末での「ゆりかご」閉所に伴い、市中心部の拠点型子育て支援センターは、2か所から1か所に減少したものの、令和5年度においては、新たな取組として、こども園や地域交流センターを活動場所とする市内巡回型の地域子育て支援センター「ミルクハウス」が、月に2回程度、児童館を活動場所とする取組を始めた。 全地域の市民にとって利便性の良い場所で活動を行うことで、地域子育て支援センターの利用者数の増加及び認知度向上につながることを期待されることから、市としても情報発信等により、活動の浸透を図ってまいりたい。

3	3	<p>2 (1) ②2 令和4年に電話相談やタブレットを用いたオンライン交流に取り組み、本年度も引き続き行う予定になっているが令和4年度の成果はどれくらいあり、成果指標のなかでどれくらいの割合を占めたのか実態を知りたい。</p>	<p>【社会福祉課】 〈地域子育て支援センターの子供一人あたり利用回数〉 地域子育て支援センターにおける令和4年度の実績は、電話による相談が235件、タブレットを用いたオンライン交流が11件であった。また、その他の取組としては、自宅における子育て支援を目的として、おもちゃ等の貸出を行うテイクアウト事業の利用が8件あった。 電話相談やオンライン交流については、全体の件数に占める割合が小さく、成果指標に表れにくい数字であるが、地域の身近な拠り所として幅広く相談に応じるための体制づくりの一環として、今後も取り組む必要があると考えている。</p>
3	4	<p>2育てる”ちから”づくりのうち、(2)地域力の強化のなかの各項目について、BとCの基準が曖昧な気がします。 例えば、①9新体力テスト・・・はAでもよいように思いますし、8新体力テストはCにも近い気がします。②生涯学習、③協働のまちづくりについてもBとCの区別がわかりにくいので考え方を教えていただければ幸いです。Bは、前期計画終了時(令和5年度末)の段階で達成見込みがあるが現在達成していないもの、Cは前期計画終了時(令和5年度末)の段階で達成見込みは未定であるが、基準値より進んでいるものあるいは一定の前進(努力)が認められるものなど基準を統一していただけるとよいかもしれません。</p>	<p>【企画政策課】 評価方法については、前期基本計画開始時の基準値と、前期基本計画終了時の目標数値に対する、直近値の進捗状況で評価を行っています。 ○直近値が、 A：目標数値を達成している、又は達成する見込みである B：基準値と比較して、改善している C：基準値と比較して、悪化している D：基準値と比較して、悪化しており、達成が見込めない 原則として、上記の基準で統一して評価を行っていますが、一部指標については、別途理由により評価を変更している場合があります。変更している箇所については、担当部署から別途説明いたします。</p> <p>【総務学事課】〈9新体力テスト～(中学校)〉 〈8新体力テスト～(小学校)〉 当日、口頭で説明いたします。</p> <p>【文化生涯学習課】〈②生涯学習〉 評価については、資料1のとおり評価しています。 図書館利用の評価区分をCとしているのは、基準値と比較し、直近値が減少しているためです。 また、社会教育主事(社会教育士)講習修了者数と、地域人材養成講座受講者数をBとしているのは、成果指標の値が改善して</p>

			<p>いるためです。</p>
			<p><b>【地域づくり課】〈③協働のまちづくり〉</b>          市内 17 団体が住民自治組織として活動を開始した。(H28)          1 団体は自立活動ができている。もう 1 団体については、現在、再活動に向け助言指導を行っている。          成果指標については、R3 は 16/17 とし計算、(一団体は自主活動が出来ているため) R4 は 15/17 とし計算、(二団体の活動内容が不明なため) した。          R3～R4 の成果指標は下がっているが、内容に変化は生じていない。(1 団体は自主活動ができているため) 判定基準は B とした。          (活動項目数=団体からの実績報告数, 計画項目数=団体からの年間計画数)</p>
<p>3</p>	<p>その他 (2)</p>	<p>これについての位置づけや記述はありますか。  <a href="https://takehara.mygroove.city/?locale=ja">https://takehara.mygroove.city/?locale=ja</a>          他市町に先駆けた DX (オープン・ガバナンス) の第 3 段階にある好事例と思います (いくつかの都市で導入事例はありますが、県内ではかなり先駆けた取り組みと思います) ので、可能であれば記載に含めていただければと思います。</p>	<p><b>【都市整備課】〈駅前ウォークابل〉</b>          ・竹原駅前のウォークアブルな取組について、デジタルプラットフォーム『my groove 竹原』を活用して情報発信することによって、市民の意見募集、ウォークアブルな活動の認知などに取り組んだ。          一方で、サイトへの情報掲載頻度、認知度などに課題もあることから、今後改善が必要であると考えている。</p>